

～開業奮闘記～

# 誰が興味あるねん

八治電

## 第44話 「噂話」

「噂話」はいつの時代も誰もが大好きな話題です。もちろん僕も嫌いでは無いですが、できるだけ「話半分」で聞くように心がけています。

これは20代後半のアメリカ修行時代の話です。ある日、深夜1時ごろに仕事に勤しんでいた時、急に先輩の絶叫が聞こえてきたんです。

ビックリしてその場に行くと、**先輩の指が重い扉に挟まれており血まみれでうずくまっている姿が。**

本人も**「指がちぎれた！！」**というくらいの怪我で、僕もかなり焦ってしまい（その時ラボに2人きりだった）、とりあえず救急箱を探して持っていったつもりだったのですが、**それは救急箱ではなく「歯磨きセットだった」ということがありました**（幸い指はちぎれてなかったが、その後深夜の病院に一緒に行き数針縫う事となった）。

時は流れ流れて開業して数年後、知り合いの衛生士さんと飲んでいた時の事。

**「そう言えば聞いたんだけど、村田さんってアメリカで、大怪我した同僚の傷口に歯磨き粉を塗り込んで爆笑してたって本当・・・??」**という言葉が。

何がどうなったらそうやって伝わったんでしょうか・・・？

もう一つは4年くらい前のこと。関東でとある勉強会が開催され、開始から少し遅れて会場入りしたんです。ほぼ満員だったのですが、空いている席があったので座ると隣から視線が。

見ると数年ぶりに会う友人の技工士だったので、「久しぶり！！」とばかりに少し強めに肩を叩いて再会を喜びました。

懇親会には彼は参加しなかったので「また飲みにいこな～」と、肩を叩いて挨拶をしました。

それから数ヶ月後、大阪で友人の技工士と飲んでいた時の事。

**「村田さん、聞きましたよ・・・。こないだ関東の勉強会で、○○君に会場で会うなり、みんなの前でいきなり胸ぐら掴んでぶん殴って、大声で『今すぐ帰れ！！』と怒鳴って追い出したんでしょ??それはさすがにやりすぎですよ・・・。』**

いやいやいやいや・・・、冷静に考えて下さい。**怪我人の傷口に歯磨き粉を塗り込んで爆笑し、公衆の面前で暴力振るって怒鳴っている人間がまともな社会生活できるのでしょうか・・・？**

今時、893でもそんな奴いないでしょう。

このように、話は人から人へ伝わる時に、（時には悪意を持って）「増えるわかめ」どころではない膨らみ方をするみたいです。

他にも、普通に部屋で契約の話をしていたのが**「密室で弁護士同席で軟禁された」**という話になったり、%fで☆ただけなのに**「√※で≤@の¥干を◆§した」**という話になってたり・・・。

思い出はいつの日もビターです。

悲しいのは「あの人がそんな事をするはずがない」という意見は全く無く、「あいつならやりかねない」と思われていた事です。

**やっぱり日頃の行いって大切です。**